

国会議員主催

第2回 プロサバナ事業に関する勉強会

JICA と外務省を招いた「公開勉強会」

国会議員と NGO が
日本の海外援助・
プロサバナ事業の問題を
とことん追求！

2020年2月19日（水） 13時～16時



【主催議員】：石橋通宏議員井上哲士議員、西村智奈美議員、
福島みずほ議員、川田龍平議員、徳永エリ議員、田村貴昭議員、
牧山ひろえ議員、原ロー博議員（その他、調整中）

昨年末（12月23日）に開催された、国会議員主催「プロサバナ事業」勉強会には、多くの参加者が詰めかけ、その様子はテレビ・ニュースでも放映されました（1月1日/TBS Nスタ）。

事業開始から9年。35億円を超える国費が投入されてきた日本の海外援助・プロサバナ事業（日本・ブラジル・モザンビーク三角協力による農業開発プログラム）には、モザンビーク最大の小農運動（UNAC）とそれを支える現地市民社会組織が7年に及ぶ根強い反対運動を続けています。

その結果、これらの人々は、現地政府や企業関係者からの脅迫を受けてきたほか、事業主であるJICAによる数々の介入・分断活動の被害を受けてきました。これを憂慮したモザンビーク弁護士会は、2017年に現地行政裁判所で訴訟を起し、2018年8月には、全裁判官一致で「憲法違反」との判決を獲得しました。

それにもかかわらず、事業主のJICAは、今も事業を強行する姿勢を崩していません。また、来日して反対を訴えた小農運動のリーダーを、自らの公式サイトで、虚偽の情報に基づき、名指し批判するなどの人権侵害を続けています。去年10月、モザンビークでは、プロサバナ事業の反対声明に署名していた市民リーダーが、現職警察官によって暗殺されています。このような行為が招く危険は明らかですが、前回の勉強会でも、JICAはこれを否定し、現在も撤回を拒否しています。

以上を受けて、国会議員の皆さんが、第2回勉強会を準備して下さいました。今回も、メディア、一般市民に開かれた勉強会となっています。ぜひ、ふるってご参加下さい。

日 時：2020年2月19日（水）13時～16時

お申込みQRコードはこちら

場 所：参議院議員会館 B104 会議室（東京都千代田区永田町 2-1-1）

アクセス：地下鉄メトロ 永田町（徒歩4分）、国会議事堂前（徒歩7分）

資料代：500円

集合時間：12時30分～12時45分 ※集合時間内に、参議院受付ロビーに集合下さい。ロビーで入館 票を受け取っての入館となります。遅れる場合は以下の申込サイトの備考欄に具体的な到着時間をご記入下さい。

申 込：事前お申込みが必要です。以下申し込みページから氏名・所属・連絡先をご記入ください。

【締め切り：2/18（火）正午】 <https://ssl.form-mailer.jp/fms/7f4f9502651813>

協 力：日本国際ボランティアセンター（JVC）、モザンビーク開発を考える市民の会、ATTAC Japan 国際ネットワーク委員会、No! to landgrab, Japan、アフリカ日本協議会（AJF） その他、調整中



【問い合わせ】：日本国際ボランティアセンター（JVC）東京事務所
〒110-8605 東京都台東区上野 5-3-4 クリエイティブ One 秋葉原ビル 6F TEL：03-3834-2388（渡辺）